

長野県地域発元気づくり支援金活用事業

杏サミット

～杏がつなぐヒト・モノ・コトの交流～

開催日時

令和5年 **11.9** 木
9:00～16:00

会場

松代文化ホール



開催にあたって

江戸時代、宇和島藩伊達家と松代藩真田家とは深いかわりがありました。初代藩主・真田信之の孫にあたる3代藩主・真田幸道の正室には、宇和島藩伊達家から豊姫(法雲院)が輿入れしています。現在、松代周辺で栽培される「杏」は、豊姫によって宇和島から松代へ伝えられたという伝承があります。江戸時代後期、松代藩では杏の栽培を奨励し、杏仁を咳止めなどの漢方薬として販売していました。

また、10代藩主・真田幸民も宇和島藩伊達家から真田家へ養子として迎えられています。幸民は幕末の動乱期にあって、新政府軍として戊辰戦争に参戦し、明治時代の版籍奉還・廃藩置県の後、松代藩知事に任命されました。

本シンポジウムでは、松代藩真田家、宇和島藩伊達家を結ぶ杏をテーマに「杏サミットー杏がつなぐヒト・モノ・コトの交流ー」を開催します。

杏を通して松代、宇和島、それぞれの地域の歴史を振り返り、ふるさとの理解と愛着を深め、元気な地域づくりに寄与することを目的として開催します。

スケジュール

9:00~12:00 第1部「杏がつなぐご縁」シンポジウム

(1) 基調講演「幕末動乱期の松代藩と宇和島藩」 東洋大学教授 岩下 哲典 氏 (リモート参加)

(2) パネルディスカッション

パネリスト	(公財)宇和島伊達文化保存会	理事長	伊達 宗信 氏
	慶應義塾大学	教授	真田 幸俊 氏
コーディネーター	東洋大学	教授	岩下 哲典 氏

13:00~16:00 第2部 学習発表

(1) 関連講演「くすりとしての杏」 寿製薬株式会社 取締役 野田 淳 氏

(2) 長野市立松代中学校

(3) 宇和島市立城北中学校 (リモート参加)

(4) パネルディスカッション

パネリスト	岩下 哲典 氏	伊達 宗信 氏	真田 幸俊 氏	野田 淳 氏
	(リモート参加)			
コーディネーター	降幡 浩樹 (真田宝物館)			